

東海経済レポート

（2019 年 3 月）

～景気は底堅さを維持しつつも、拡大ペースは鈍化～

【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は全体として底堅さを維持しているものの、その拡大ペースには鈍化が見られる。企業部門では、設備投資は引き続き堅調に推移している一方、生産と輸出は一進一退となっている。家計部門では、良好な雇用環境の下、個人消費が引き続き堅調に推移している。
- ▶ 生産は、1 月の鉱工業生産指数が前月比▲4.3%と、2 ヶ月ぶりに低下した。業種別では、電子部品・デバイス工業が 2016 年 2 月以来の水準まで低下したほか、輸送機械、電気機械、生産用機械など主要業種が揃って減産となった。
 - ▶ 設備投資は、2018 年 10-12 月期の大企業の投資額が前年比+8.3%と 3 四半期連続の増加で、製造業の伸びが全体を支えた。金属工作機械の受注は、当地区主要 8 社の国内受注額が 1 月に前年比▲7.6%と 2 ヶ月連続で減少した。一般機械工業、自動車工業、電気機械工業からの受注（全体の 8 割強）が、いずれもマイナスとなった。
 - ▶ 輸出額（円ベース）は、2 月に前年比+7.0%と 3 ヶ月ぶりに増加した。米国向け、EU 向けを始め主要相手国・地域向けは総じて増加したが、中国向けについては 1、2 月累計ベースでは同▲3.3%と減少している。品目別では、自動車部品が 4 ヶ月連続で減少となったが、その他品目は総じて増加となった。
 - ▶ 1 月の有効求人倍率は、三重県が 1.76 倍とバブル崩壊後の最高を更新したほか、岐阜県も上昇した。愛知県は小幅低下となったが高水準を維持しており、3 県ともに労働需給の引き締まった状態が継続している。
 - ▶ 個人消費関連では、1 月の小売主要 3 業態の販売額が前年比▲3.2%と 2 ヶ月ぶりに減少した。一方、1 月の新車販売台数は同+1.6%と、2 ヶ月ぶりに増加した。
 - ▶ 住宅着工戸数は、1 月に年率換算 7.6 万戸、前年比+7.1%と 2 ヶ月連続で増加した。貸家が 2 ヶ月ぶりに減少となったものの、分譲マンションと分譲戸建てが大きく伸びた。

【生産①】

1月の鉱工業生産指数は前月比▲4.3%と、2ヵ月ぶりに低下。前年同月比ではプラス。

鉱工業生産指数

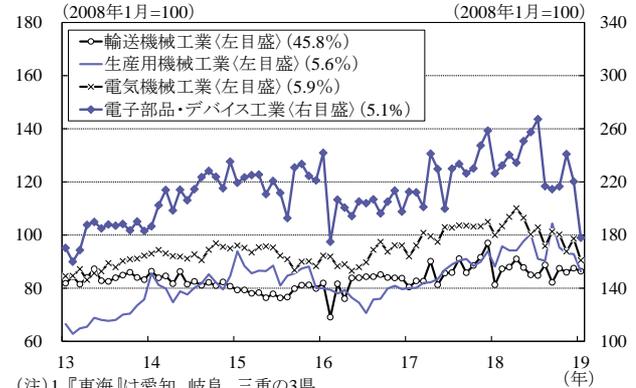


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

電子部品・デバイス工業が2016年2月以来の水準まで低下したほか、主要業種も前月比減産となった。

業種別の鉱工業生産(東海)



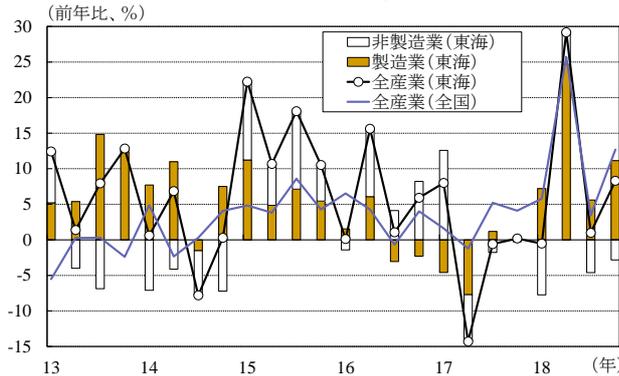
(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準)。
中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

10-12月期の大企業の設備投資は前年比+8.3%と3半期連続で増加。製造業が伸びて、全体を下支え。

大企業の設備投資

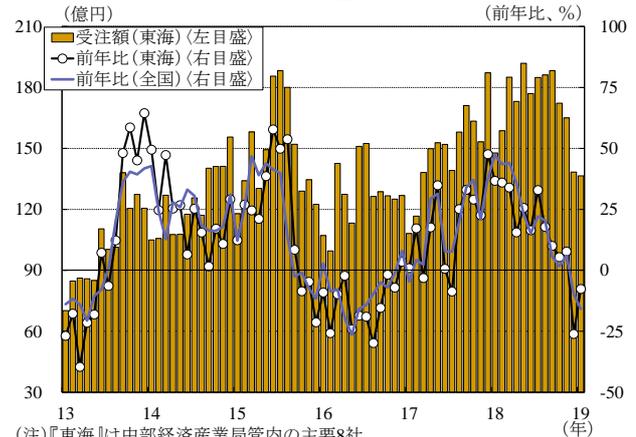


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は1月に前年比▲7.6%と、2ヵ月連続の減少。

金属工作機械国内受注額

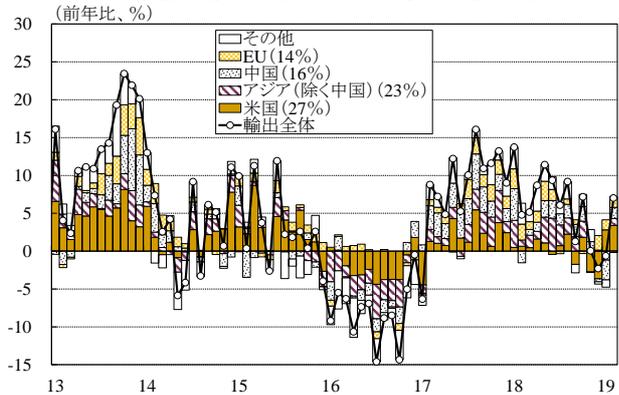


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

2月の輸出額(円ベース)は前年比+7.0%と3ヵ月ぶりの増加。主要相手国・地域向けは総じて増加。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

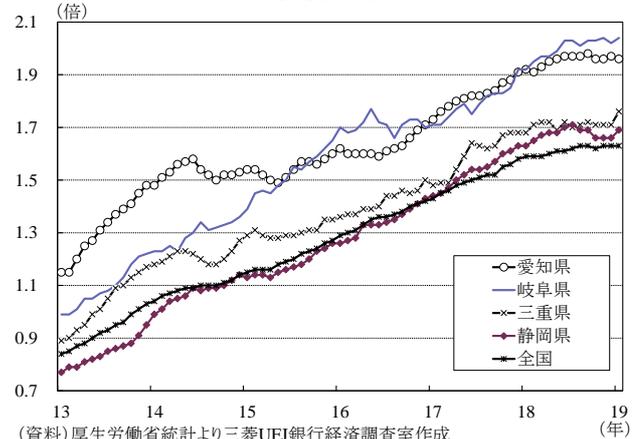


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2018年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

1月の有効求人倍率は、三重県が1.76倍とバブル期以来の最高を更新。愛知県、岐阜県も高位で推移。

有効求人倍率

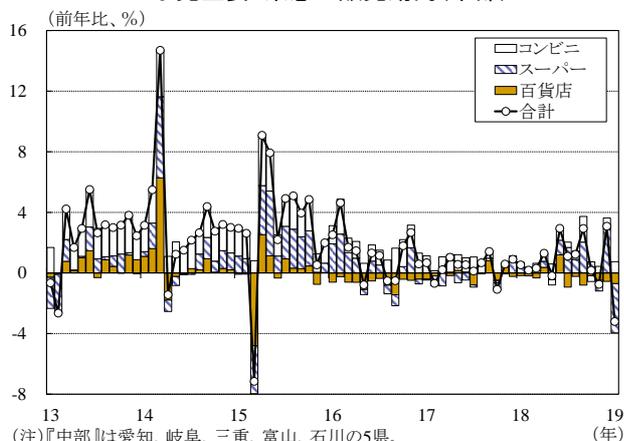


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

1月の小売主要3業態の販売は前年比▲3.2%と2ヵ月ぶりの減少。スーパーが同▲6.4%と大きく減少。

小売主要3業態の販売動向(中部)

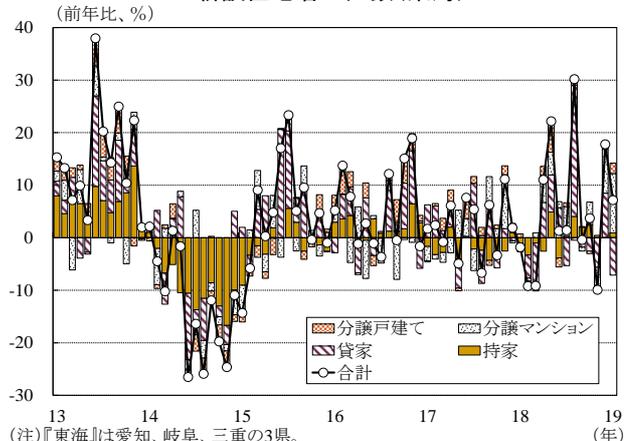


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

1月の住宅着工戸数は年率換算7.6万戸、前年比+7.1%増。分譲マンション・戸建てが大きく増加。

新設住宅着工戸数(東海)

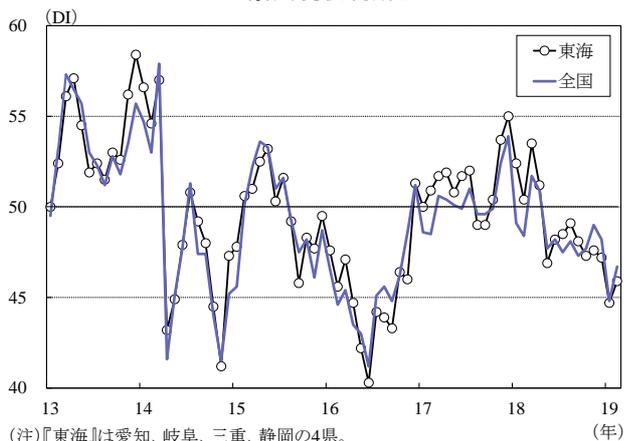


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

2月の現状判断DIは45.9と、3ヵ月ぶりに上昇。依然、好不調の分かれ目となる50以下の水準が継続。

景気現状判断DI

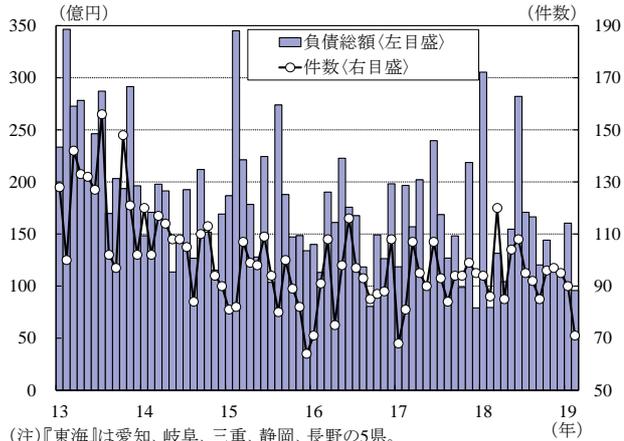


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

2月の企業倒産件数71件で、前年比▲17.4%の減少。負債総額は96億円で、同+20.5%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、OPEC等による協調減産の進捗やベネズエラの生産減等を背景に50ドル台後半まで上昇。

原油価格

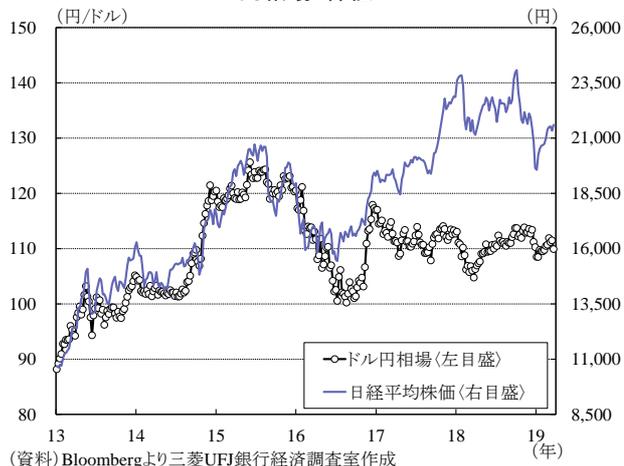


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

為替市場は国内外の硬軟の材料が入り混じり膠着感が強い。本邦株価も連動する形で小幅な動き。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。